

# 解答プリント「中学社会・歴史的分野」

## ■発展プリント

### 8 幕府政治の動きと近代欧米諸国

【評価の観点】**㊦**：思考・判断・表現    **㊧**：技能    **㊨**：知識・理解

解答例	解説
<p><b>1</b>   <b>㊧</b> (1) エ</p> <p><b>㊦</b> (2) 商工業者を保護し、税を納めさせた。(17字)</p> <p><b>㊧</b> (3) 天明のききん</p> <p><b>㊧</b> (4) エ</p>	<p><b>1</b> (1) Aの改革とは、8代将軍徳川吉宗が行った享保の改革のことである。 ア 吉宗は町人の財力を積極的に利用して新田開発を進めた。 イ 上米の制は1722年に始まり、1731年の廃止まで続いた。これにより幕府の財政収入は10%以上増加した。 ウ 吉宗がキリスト教と無関係の漢訳した洋書の輸入を許可したことにより、蘭学が発達するきっかけとなった。 エ 儒学を奨励し、生類憐みの令を出したのは5代将軍徳川綱吉である。生類憐みの令は綱吉の死後、すぐに撤廃された。</p> <p>(2) 田沼意次は株仲間の結成を奨励し、そのかわりに税を徴収した。他の改革は農業を中心とし、質素・儉約により財政を再建させようとするものであった。</p> <p>(3) 天明のききんは、1782～87年にかけて、浅間山の大量噴火・冷害・水害によりおこった、全国的な大騒ぎである。</p> <p>(4) 異国船〔外国船〕打払令が緩和されたのは1842年のことである。1840年におこったアヘン戦争に清が大敗したことが緩和の理由となった。</p>
<p><b>2</b>   <b>㊨</b> (1) 文化、文政</p> <p><b>㊨</b> (2) イ</p> <p><b>㊦</b> (3) エ→ア→イ→ウ</p> <p><b>㊨</b> (4) ナポレオン</p>	<p><b>2</b> (1) 化政文化とは、文化・文政時代の1804～29年を中心にさかえた文化である。</p> <p>(2) アは化政文化を代表する風景画の作者、イの松尾芭蕉は元禄文化を代表する俳諧師であり、俳諧を芸術として大成した。ウの十返舎一九は化政文化を代表する滑稽本の作者で『東海道中膝栗毛』を著した。エの滝沢馬琴は化政文化を代表する読本の作者で『南総里見八犬伝』を著した。</p> <p>(3) ヨーロッパでは、啓蒙思想が広まると、国王の専制に対する革命を通して政治と社会が変化していった。その最初がイギリスでおこったピューリタン革命（エ、1642～49年）である。イギリスでは、さらに名誉革命（ア、1688年）がおこり、翌年、「権利の章典」が公布され、議会の権利が確立した。その後、市民革命の波はアメリカ独立戦争と独立宣言（イ、1775～76年）、フランス革命と人権宣言（ウ、1789年）へと広がっていった。</p> <p>(4) ナポレオンは一時ヨーロッパの大部分を支配した。</p>